

内閣府 復興支援型地域社会雇用創造事業「グラウンドワーク・インキュベーション」 起業支援対象者 ビジネスプラン概要

| No | 氏名 | ビジネスプランタイトル | ビジネスプラン概要 | 起業予定地域 |
|----|-------|---|--|--------|
| 1 | 赤坂 智子 | 生きがいを求め信頼する仲間を作り手織り機を使ってライフスタイルを変えましょう | 石巻から全国へ独自の手織り機を使用して心のこもった作品を発進して販売していく。それにもなって手織りのインストラクターを育て日本伝統の織りの技法を伝承する | 宮城県石巻市 |
| 2 | 原子 雪乃 | 東洋医学 はり・きゅう・マッサージによる 訪問型 心と体のケア事業 | 石巻の仮設住宅や在宅へ訪問し、鍼・灸・タイ古式・オイルマッサージ等をする。独居・高齢世帯の方、小さな子どものお母さんで、身体的・精神的・物理的理由でその場を動けない方の心と体のケアをし、地域の活性化に取り組んでいく。 | 宮城県石巻市 |
| 3 | 勝田 勝 | 子どもたちのキャンプ体験 in 石巻 Children's Camping Party in ishinomaki 石巻・島の防災学校 | 牡鹿半島は豊かな自然の宝庫であり、まだまだ未開発の観光適地が多数あります。恵まれた自然の観光開発や周辺地域の活性化を目的に、自然体験学校イコール防災学校を開設します。教育プログラムの基本は文科省のカリキュラムに準拠した、自然の中での生活を通じて「生きる力」の養成と習得です。具体的にはシーカヤックを中心に据えた海洋型スポーツと半島の特性を生かしての半島一周のトレッキングやキャンプ体験などが挙げられます。 | 宮城県石巻市 |
| 4 | 阿部 恵一 | 求職・失職者の若者や女性に、仕事に直結する「教育訓練サポート」と「キャリア教育」 | 被災地の工事現場では、CAD技術者の慢性的な人手不足に陥り、人材確保の深刻化が懸念されているので、求職・失職中の若者や子育て中の女性を中心に、CAD技術者の教育訓練とキャリア教育を図ります。 | 宮城県石巻市 |
| 5 | 内海 謙 | 「広告を通して被災地でがんばる企業、団体をサポート！！」 | 被災地で起業される方、震災後起業された方、被災企業、地元でがんばるNPO団体の広告総合プロデュース。広告制作だけに特化せず企業販売戦略をサポートする。具体的にどのような形で宣伝をすれば効率的に商品・サービスが市場のニーズに受け入れられるのかを共に考え形にしていく。 | 宮城県石巻市 |
| 6 | 佐藤 直人 | 「石巻サッカー王国復活へ」 | サッカーができなくなってしまった子供達に対して巡回指導を行い、チームに入っている子供達に対しては高いレベルでの指導を行うスクールを開校する。障害者のクラスも作る。小・中学校や市のグラウンドにナイター設備の設置。大会等を開催・運営し、県内外の多くの方から石巻に来ていただく。若い指導者の育成も行き、指導者のレベルアップも図る。 | 宮城県石巻市 |
| 7 | 日野 雅晴 | 被災地石巻にぎわい復活、社会雇用創造復興支援型事業～福祉農園を使った、笑顔でいきいきプロジェクト | まちなかに福祉農園を建設し、被災された障害者や高齢者を中心に雇用し、製造から販売まで一貫し雇用の安定と事業の継続性を高め、被災住民がいきいきと暮らせるようまちなか復興支援を継続し、石巻の将来を担う次世代の若者が集うにぎわいあるまちを創造する。 | 宮城県石巻市 |
| 8 | 菊田 貞吾 | 「復興石巻ツアー」で現況の情報発信と支援活動を縁結びする。 | 本事業は、国内外からの個人、団体を対象に「復興地石巻ツアー」を企画・運営し、石巻地域の被災体験復や復興活動を伝えると共に、支援を必要とする住民や企業に対してと多方面からの支援者・団体を募り、両者の縁結びをする、そしてコンシェルジュの養成・雇用し、石巻地域の語り部を創生する。 | 宮城県石巻市 |

内閣府 復興支援型地域社会雇用創造事業「グラウンドワーク・インキュベーション」 起業支援対象者 ビジネスプラン概要

| No | 氏名 | ビジネスプランタイトル | ビジネスプラン概要 | 起業予定地域 |
|----|--------|------------------------------------|--|--------|
| 9 | 佐藤 大知 | 車イスでも自由な移動を提供「外出支援サービス事業」 | 高齢者や障害者などで補講が難しい方々に対し、車イスでもどこでも移動できる福祉タクシーを提供します。介護タクシーと違い介護保険も移動の制限もありませんので自由な移動が可能です。 | 宮城県石巻市 |
| 10 | 谷 かをる | 石巻はまだまだ復興最中！自分達の今の写真を自分達で残そう！ | 仮設住民へへの出張撮影と写真教室を開き、写真を生活に近づける。教室毎の写真集で点在する仮設を繋げ、コミュニティ形成を図る。撮影・プリント代、受講料の収入と法人営業の組み合わせで安定運営する。 | 宮城県石巻市 |
| 11 | 伊藤 由美 | ママさんの安心子育て農場【マザーズファーム】 | 子育て女性に視野を向けた雇用にこだわり、野菜の生産販売を行います。販路は大手飲食店・化粧品会社であり安定した収入を得る事ができます。また、耕作放棄地や浸水地域を開拓し、震災で失われた地元の景観を農業という立場から美しくしていきます。 | 宮城県石巻市 |
| 12 | 高橋 和希 | 見守り野菜宅配訪問事業 | 現在、孤立している高齢者などのお宅に野菜を宅配することにより、買物の手間が省けます。また、週に一回でも誰かが家に来る安心感、楽しみを提供できることにより自殺や孤独死の防止に繋がります。 | 宮城県石巻市 |
| 13 | 奈良坂 京子 | 被災地域とボランティアを結ぶ交流宿泊施設事業 | 石巻市には復興作業・取材関係者が多く滞在し、団体による長期予約等で一般の宿泊施設が足りません。それを解消するために、個人ボランティア、大学の研究者等の短期宿泊者向けにゲストハウスを立ち上げ、地域の復興に繋がります。 | 宮城県石巻市 |
| 14 | 三浦 茂 | 地場産品をコンセプトとした飲食店で地元石巻を元気づけよう！ | 地元石巻で採れた食材を使い昼間は定食を提供する。夜は海鮮鉄板焼きをコンセプトとし、地元の海産物をとにかくふんだんに使う。株式会社セリュックホールディングスプロデュースのもと石巻の名物を目指して「石巻うどん」「石巻焼き」を押し出していく。 | 宮城県石巻市 |
| 15 | 萬代 由美子 | 新鮮、安全な野菜と元気の配達人！！ | 独居、高齢者、孤立、買い物が不便な方に産地を表示し安全性をアピールした野菜と話相手を含めたサービス宅配をする。高齢者を雇用し生きがいを持つビジネスとして自立支援を行い地域のコミュニティを形成する。 | 宮城県石巻市 |
| 16 | 安藤 悦志 | リサイクル復興。地産地消ならぬ地再地商を目指す。 | 塩釜市内にて硝子工房を建て、廃棄処分とされている硝子製品を溶かして商品、作品を製作する。 | 宮城県石巻市 |
| 17 | 今藤 正太郎 | 被災高齢者のコミュニティと生きがい形成するソーシャルファーム事業 | 独居、孤立世帯、仮設生活の被災高齢者に対して農業を通じたソーシャルファームによるコミュニティ形成と福祉的就労支援事業。また、栽培した農作物から得た利益を基に自立を足すことで、雇用・福祉問題解決に繋げる事業。 | 宮城県石巻市 |
| 18 | 綾部 優子 | 昔ながらのあの集える空間をもう一度 今はなき、心なごむおやつショップ | 震災により見えないストレスを抱えた子どもたちに今、自分が癒された「あの味」、「あの場所」を伝えたく、おやつショップと駄菓子屋を融合させたお店を作り、被災者のストレス軽減と地域活性化に貢献します。 | 宮城県石巻市 |

内閣府 復興支援型地域社会雇用創造事業「グラウンドワーク・インキュベーション」 起業支援対象者 ビジネスプラン概要

| No | 氏名 | ビジネスプランタイトル | ビジネスプラン概要 | 起業予定地域 |
|----|--------|---|--|------------|
| 19 | 栗原 和子 | 人と人、地域と地域を結ぶ みそ汁カフェ | 作り手と食べ手、生産地(被災地含む)と街、街中の住民同士をみそ汁で結ぶ。材料のみそ、だし、貝の産地、街の中での孤立しがちな高齢者や育児者等住民がみそ汁と一緒に食べることで、ゆるくつながれる場所。 | 宮城県 仙台市 |
| 20 | 勝又 秀樹 | 地元石巻で世代を問わず集まれる場所を自分たちで作る | 石巻市内で、新たな特徴のあるコミュニティスペースを作る。石巻では例がないWi-fi環境の整った喫茶スペースを作りiPadを複数台設置する。併設公園のお客様が休むためのコミュニティスペースとしての喫茶、軽食の販売を行う。併設公園と連携をとり洋服、スケートボードグッズの販売に取り組む。 | 宮城県 石巻市 |
| 21 | 須田 雄介 | SILK BROTHERSから学ぶ物作りの喜び教室 | 地元石巻の中卒者など迷える若者たち、子供達に手作りでTシャツが作れるシルクスクリーンの技術を教え、1からTシャツが作れることを体験してもらう。記念品としてシルクスクリーン版の展示会を行いながらスクール受講料、Tシャツ販売も行っていく。 | 宮城県 石巻市 |
| 22 | 今野 祐馬 | 石巻に子供達の遊び場を作りコミュニティの再生をまず自分達からやろう! | 子供の遊び場の提供を目的としたスケボーパークを造成し、2年以降は補助金に頼らず自主的に運営する為に施設使用料、スクール受講料、音楽イベント収入、以上3本の収入の柱を軸に地域活性化、雇用の促進、青少年の育成、新たなコミュニティの構築に取り組んでいく。 | 宮城県 石巻市 |
| 23 | 石森 こと美 | 復興にたずさわり、頑張っている人の健康を守るキッチンを提供 デリバリー「ふれ・愛キッチン」 | 石巻を中心に牡鹿半島一帯には、独特の食の文化と食生活の風習があります。それは漁師部落ならではの生活の知恵が生み出した、特有の味付けと和気あいあいとした雰囲気の中での会食です。幸いなことに歴史のある我が家には伝統の味付けレシピと、地区特有のネットワークを保有しています。そのニーズとマーケットに、食事(弁当)のデリバリーを開始します。 | 宮城県 石巻市 |
| 24 | 坂井 純子 | 被災ペットを保護・教育し、アニマルセラピーで地域に癒しと生きがいづくりで元気に。 | 被災したペットをセラピー犬として教育し、障害者施設、仮設住宅等へのセラピー犬の派遣業務を行う、高齢者や病気の方等を対象にアニマルセラピーで心のケアに繋げていきます | 宮城県 石巻市 |
| 25 | 塩田 光 | 体験型グリーンツーリズムと福祉的交流のマッチングによるソーシャルファーム 援農と福祉的交流によるグリーンツーリズム | 石巻福祉施設の利用者を、経済的自立のためにバラ栽培スタッフとして福祉的に雇用する。さらにコミュニティ形成支援を目的として福祉的交流・体験型グリーンツーリズムを取り入れたソーシャルファームを展開する。 | 宮城県 石巻市 |
| 26 | 前園 隆宣 | 石巻の高齢者と大学生をつなぐ“援農プロジェクト” | 被災地においてソーシャルファームによる農業が住民の社会性の向上だけでなく雇用創造につながると考える。そこで、私を含めた農学的専門知識を有する学生を援農者として参加させることによりソーシャルファームにおける農業収益を向上させ、被災者の農的雇用に繋げる。 | 宮城県 石巻市 |

内閣府 復興支援型地域社会雇用創造事業「グラウンドワーク・インキュベーション」 起業支援対象者 ビジネスプラン概要

| No | 氏名 | ビジネスプランタイトル | ビジネスプラン概要 | 起業予定地域 |
|----|--------|---|--|------------|
| 27 | 濱田 龍馬 | 南相馬市を対象とした研究および研究者市民間交流の支援研究所 Rebirth Lab | 南相馬市を対象とした研究を支援するための施設を会員制で運営する。日中の休憩とインターネット、資料印刷、講義が可能であり、研究活動を支援する。加えて、研究者・住民間の交流・情報交換・発信を行う。 | 福島県南相馬市 |
| 28 | 百瀬 勝敏 | 福島から 新食感福光おやき 発売に挑戦 | 福島三春町の皆さんと協力し、地元の食材を使い、形や大きさも検討した、新感覚の「福光おやき」を発売し、将来は福島の名物になるようにする。 | 福島県田村郡三春町 |
| 29 | 軽部 富美子 | 「忘れられた被災地茨城から発信する お母さんにやさしい東北の食材。」 | 被災地の食材を使った産前産後の母親向けの弁当を販売と食材を紹介する。月に1回、産前産後のお母さん向けのワークショップを開催し、スカイプで被災地に中継し、被災地で生活するお母さんが語り合い情報交換の場をつくる。 | 茨城県稲敷郡阿見町 |
| 30 | 長谷部 光伸 | 「吉田式自然農法」を使用した被災地塩害被害支援事業 | 「吉田式自然農法」は古代地層から発見されたバクテリア類を、発見者の吉田氏が10余年の歳月をかけ培養、研究した結果、短期間(約2週間)で塩害などによる土壌被害を改善できる画期的な農法です。この農法を使用して被災地の塩害被害で困っている農家を助け、支援したいと考えています。 | 千葉県印旛郡栄町 |
| 31 | 有野 真由美 | 筑波&石巻一心の復興とふるさと再生を自転車であうクロスツーリズムプロジェクト | NPOフェアトレード東北などと連携し、自転車を活用したブルーツーリズム(夏季・石巻)とグリーンツーリズム(冬季・筑波)の相互乗り入れ型ツアーやイベントを事業化。郷土の宝の再発見と心身の活力再生をうながす。 | 茨城県つくば市 |
| 32 | 今井 直子 | 「つくば三昧! デコ軽トラの移動おばんざい屋さんが、風評被害を吹っ飛ばす!!」 | 震災後つくば市を含む茨城県県南には、放射線量が高いホットスポットが点在している。茨城県内の農作物は放射性物質が検出されなくても、風評被害により消費が落ち込んでいる。自ら放射線量を測定し、規格外野菜を含め、地元の安心安全な野菜と、被災地の生産物(石巻から主にわかめ・ひじき、仙台から仙台麩など)を取り寄せて、美味しいお惣菜を作る。 | 茨城県つくば市 |
| 33 | 金沢 直子 | 復興応援カフェ:ヘルシーコミュニティを創る! 忘れられた被災地茨城と東北の被災地の出会いが宝になる!! | 龍ヶ崎市初の地産地消のカフェを始めます! 例えば、龍ヶ崎市特産の米粉を使って、石巻のひじきを合わせ「ひじきクッキー・ひじきチジミ」を「復興応援カフェ」で提供し、安全安心な食物で被災地に関心を持ち続けてもらいます。 | 茨城県龍ヶ崎市 |
| 34 | 花嶋 美清雄 | プラチナ世代の御用聞き! ~気軽に頼れる町のお手伝いさん~ | 町の65歳以上の方が住む4,915世帯を対象に、会員制の御用聞きを行う。会員からの依頼によって、震災によって傷ついた壁や家具の修理、その他家での軽作業、次の震災に備えての非常用バッグの準備や家具の転倒防止装置の設置、買い物の代行等の御用聞きを行う。会員には準会員、生会員、賛助会員の三種類を用意し、会員の種類によって料金を変える。今後、当ビジネスモデルを老人口の多い町を中心に、岩手県や宮城県でも行い、震災復興の手助けをしたい。 | 茨城県北相馬郡利根町 |

内閣府 復興支援型地域社会雇用創造事業「グラウンドワーク・インキュベーション」 起業支援対象者 ビジネスプラン概要

| No | 氏名 | ビジネスプランタイトル | ビジネスプラン概要 | 起業予定地域 |
|----|--------|---|---|---------|
| 35 | 深尾 尚子 | 眠れる優良産品と消費者をつなぐ～漁業ルネッサンスを通じた地域経済の再生～ | 三陸の優れた水産物を、水産加工業社等との提携により消費者が購入しやすい商品としてパッケージングする。この新商品を生産者自身が消費者に販売することにより、あたらしい漁業のビジネスモデルを構築する。 | 宮城県石巻市 |
| 36 | 松本 国昭 | 被災地の田畑を“美しき田園”に復活させる循環型農業ネットワークづくり | 被災地の農業実践者にミネラル炭を中心とした農業技術を提供し、安心安全で美味しい農作物を全国的に産直販売するネットワークを構築する。循環型農業を目指す一般社団法人を設立し情報発信や交流を促進する。 | 宮城県気仙沼市 |
| 37 | 佐野 大樹 | 被災地復興に一役担える国内ロングステイ「もう一つの我が家」 | 海外ロングステイ事業の経験を活かし、東北での消費を活発化させる為の国内ロングステイ事業。名古屋を中心と大きな市場から気仙沼市に富裕層を送り、コミュニティや消費につな東北に「もう一つの我が家」を作る。 | 宮城県気仙沼市 |
| 38 | 須之内 孝弘 | 知る事からはじめよう！石巻 気仙沼 ふれ愛ボラとりっぷ | 中部地方の“想い”がある人々と共に、宮城県内の被災地を回るツアーを企画。現地の皆さんと交流し、手伝い、中部の人々が被災地の為、何が出来るかを参加者それぞれの視点で洗い出し、今後の行動習慣と消費習慣の変化を促し、東北経済の活性化を狙う。 | 宮城県石巻市 |
| 39 | 藤原 朋 | 宮城県のご当地グルメの代名詞「石巻焼きそば」を他県で販売し、地元宮城県を元気にする！ | 石巻焼きそばを石巻以外の地域で販売すると共に、石巻で行われているNPOの活動やイベント観光情報等を伝える役割もする事で、石巻に対する興味を持ってもらい石巻を外から活性化させる為、外需を呼び込む。 | 宮城県石巻市 |
| 40 | 宮澤 聖司 | 気仙沼大島 特産物オーナー制度を連携させた復興支援観光ツアー事業「大島特産物オーナープロジェクト」 | 観光資源の豊富な大島へ東海地区(主に名古屋)の復興支援の意識の高い方へ「復興のための観光ツアー」を企画し、大島への観光客を増加させる。観光と水産業の取り組みを連動させ、観光業と水産業の振興を活性化させるプランとなる。 | 宮城県気仙沼市 |
| 41 | 斉藤 洋介 | 被災地における文化芸術普及と音楽教育事業・被災地における文化復興と情報発信連携事業 | ★音楽演奏を楽しみ共有できる環境と、発展する上で必要な文化的側面を持つ教室・ワークショップ等の事業。★文化的催しに必要な不可欠な集客イベントの運営と、被災地の今を現地の人が考え、情報発信する事業。 | 宮城県気仙沼市 |
| 42 | 金刺 順稚 | インターネットのスカイプを利用したマッチングサイト事業 | スカイプを利用したサイトを構築することで、自分の特技を活かした仕事を行うことが出来ます。インターネットを活用する為、市場は全国となり、被災地にいながら被災地以外から収益を上げることが可能となります。 | 宮城県仙台市 |
| 43 | 山崎 義勝 | 甲良式「集落営農」導入で被災地の農業再生を実現 | 被災地沿岸部の農耕地は塩害で壊滅に近い状況にある。増え続ける耕作放棄地に歯止めをかけ、そこで暮らす人たちの農業復帰を促すために、「集落営農」の手法を被災地沿岸部の農耕地にも取り入れること農業再生を果たす。 | 宮城県石巻市 |
| 44 | 大内 順 | 被災地の企業を対象とした採用業務サポート事業。 | 景気低迷で各企業は採用業務を行う部門を縮小し、震災を受けた被災地の企業は、より採用業務が困難に陥っている。本業に集中し易い環境を提案し、採用業務の代行サポートを通じ、地域の雇用を守り、自社の雇用を創出する事で、復興に貢献する。 | 宮城県仙台市 |

内閣府 復興支援型地域社会雇用創造事業「グラウンドワーク・インキュベーション」 起業支援対象者 ビジネスプラン概要

| No | 氏名 | ビジネスプランタイトル | ビジネスプラン概要 | 起業予定地域 |
|----|-----------------------|--|---|---------|
| 45 | 野地 数正 | 仮設住宅者向けに家事の相互サポート体制を確立し、コミュニティを再興する事業モデル | 仮設住宅住の主婦(被災者)を中心に家事スキル(資格)を習得頂き、同施設で家事の多大なる負担を強いられている高齢弱者に、資格を活かした「家事サービス」を有償提供し相互コミュニティを復興していく事業。 | 福島県郡山市 |
| 46 | 【グラウンドワーク笠間】 埴 茂 | 「民芸の里」再生による地域活性化と雇用創出 | 笠間市中心街(「笠間工芸の丘」に隣接)にある「民芸の里」(用地≒2,000坪・テナント数30店舗)は、現状“負スパイラル”に陥っている。打開策として「民芸とアグリ」の里」に方向転換し活性化を図る。具体的には、従来の民芸品に加えて、“地産地消”によるアグリレストランやアグリマルシェ等の新規事業とイベントを展開し“賑わい”を創造・再生する。 | 茨城県笠間市 |
| 47 | 堀 有伸 | 被災地におけるコミュニティの再生を通じて、うつ・ひきこもり・自殺を予防する | ラジオ体操などを通じた日常的な関わりを同一地域に継続して行い、その上でメンタルヘルスについての啓発活動を行う。活動の主目的は知識の伝達ではなく、コミュニティの自発的な問題解決能力を高めることである。 | 福島県南相馬市 |
| 48 | 佐藤 暁 | 「石巻地域におけるサッカーを中心としたスポーツによる子ども達の運動不足解消」 | 石巻市内等の体育館に定期的に巡回に行き、小学生には、サッカーボールを使ったレクリエーション的な遊びの中で体を動かせることが好きになるような指導を行い、また、中学生には自我が目ざめ、向上心が生まれる年代のため、サッカーの専門的な指導を行うことによってサッカーを通じたスポーツの楽しさが体験出来る様にする。 | 宮城県石巻市 |
| 49 | 花山 香織 | おおさき岩出山の自然のちから、みんなの元気と笑顔が集い、醸す発酵カフェ事業 | 国道沿いにある建物を活用し、地元素材による発酵の力を活かした食事を提供するカフェを行い、「発酵のまちおおさき」を発信し、生産者や消費者の方々が集まり、食や地域づくりについて話せる場所をつくります。 | 宮城県大崎市 |
| 50 | 和田 りち子 | 出張理容で身も心もスッキリ | 津波で流された店舗の無い理容店が集まり、石巻の今までのお客様だけでなく、ホームページなどで幅広くお客様を獲得し、その連絡のあったお客様のところへ出向き、理容を行う。 | 宮城県石巻市 |
| 51 | 【被災事業所復興支援室】 古藤野 智 | 「再生の街基金」事業 | 24年7月から始まった再生可能エネルギーの全量買い取り制度を活用し「屋根がし事業」を行う。全量売電した売上の50%を被災地の産業復興に充てる。被災地の再生と再生可能エネルギーの普及を同時に目指します。 | 宮城県石巻市 |
| 52 | 佐々木 真 | 地域コミュニティの拠点となる小規模デイサービスセンター | 地域に密着した形で展開できる民家型デイサービス事業を起業します。地域の介護・コミュニティの拠点を目指し、介護問題で悩んでいる人・その家族に寄り添い、介護問題の解決と地域福祉の充足を図っていきます。 | 宮城県石巻市 |